

日時：令和4年9月5日（月）19時～20時

場所：web会議

参加者：部会長 河添 真一
副部会長 小林 晃子、中村 光宏
理事 尼崎 美奈子、河田 尚己、河村 明美、桑田 みゆき、田村 有基
年光 久美、中村 嘉孝、福田 祥子、渡辺 眞美子
監事 田坂 照彦、西村 正広
県薬会長 吉田 力久
県教委 畠中 繁

報告事項

(1) 研究委員会の報告（尼崎）

給食室における食器洗浄方法に関するアンケートを実施内容について、第1回学校薬剤師会研修会「幼稚園、こども園での衛生検査の考え方」と題しての発表内容について、今年度の研究テーマについて3点の検討を行ったと報告があった。

(2) 「給食室における食器洗浄方法に関するアンケート」実施における案内文について（中村光宏）

今回は Google フォームを利用しての調査に変更、回答期限を令和4年9月30日（金）とし、県教育庁所管の学校に配布するとの報告があった。

(3) 令和4年度 第45回山口県学校環境衛生研究大会報告（河添・小林）

令和4年7月28日（木）にwebで開催された標記大会について参加者は162名。感想も多くいただき一部県薬理事会へ報告し、詳細は部会ホームページに掲載すること、特別講演2の詳しい資料を大会参加者に配布することの報告があった。

(4) 令和4年度薬物乱用防止指導員養成事業指導者テキストの配布について（河添）

標記テキストを部会員全員に配布できるように県薬務課と検討中との報告があった。

(5) 令和4年度薬物乱用防止指導員研修会の報告（小林）

令和4年8月10日（水）に広島オフィスセンター第G会議室で開催された標記研修会について知識編として、（一社）日本くすり教育研究所 代表理事 加藤哲太先生より薬物乱用についての最新情報や10代の処方薬・市販薬の乱用についてのお話、実践編で「教材パッケージの貸出」についての報告があった。詳しくは2月開催予定の第2回学校薬剤師部会研修会で報告できればと話された。

(6) 第81回九州山口薬学大会 学校薬剤師協議会について（河田）

学校薬剤師協議会で検討される議題の山口県回答を提出済みの報告と、今後は理事全体で検討し学校薬剤師協議会へ報告できればとお話があった。

(7) 令和4年度日本薬剤師会学校薬剤師部会環境衛生検査技術講習・学術研修会（田村）

令和4年8月21日にTKP ガーデンシティー竹橋 大ホールで開催された標記研修会について講義1として文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官 鈴木貴晃先生から「学校

環境衛生基準の改訂について」、講義2として日本薬剤師会学校薬剤師部会幹事 木全勝彦先生から「室内空気環境におけるデジタル測定器の活用と校正のしかたについて」の研修報告があった。

(8) 学校薬剤師部会第1回研修会について (小林)

現在の参加者73名、締め切りを9月7日10時まで延長することの報告があった。

(9) 第55回日本薬剤師会学術大会での発表について (中村光宏)

標記大会にて研究委員会で作成した「こども園での感染予防に関する消毒法リーフレット」について口頭発表の決定が報告された。

(10) 今後の予定について (河添)

県内会議・研修会、講師依頼、各地の会議・研修会の参加の予定表を作成することの報告があった。

(11) 災害時学校環境衛生検査マニュアル執筆の分担について (年光)

標記についての協力依頼と10月末のしめきりについて話があった。

協議事項

(1) 学校薬剤師部会会則の追記(会費部分)について (河添)

1年のうち途中退会、途中入会の部会費について検討されたが持ち越しとなった。

(2) 「学校環境衛生基準」開設解説2022の発行について (河添)

部会で購入し地域薬剤師会に1冊ずつ配布することが決まった。

(3) 令和5年度 第46回山口県学校環境衛生研究大会について (尼崎)

開催日は令和5年7月27日(木)、場所は山口県総合保健会館 多目的ホールで決定し、形式はwebハイブリッド開催で予定。構成は第44回大会と同様・研究協議課題3題で開催し、特別講演の講師は9月中旬に決定する。

(4) 令和4年度山口県学校保健研究大会の特別講演演者の推薦について (河添)

標記大会の演者は中村光宏副部会長に決定し山口県内のコロナ禍の活動について講演予定。

(5) 山口県学校環境衛生優秀学校審査会について (河添)

9月26日(月) 19:00~20:00 web開催。

(6) 次回理事会について (河添)

11月の月曜日 19:00~20:00 で予定 後日連絡する。

(7) 地域委員会の開催時期について (小林)

準備をして開催を検討する

(8) 学校環境衛生検査報告書の様式の改訂について (小林)

各自、優秀校現地調査後気付きを報告して、標記について検討することになった。